

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公表番号】特表2002-543953(P2002-543953A)

【公表日】平成14年12月24日(2002.12.24)

【出願番号】特願2000-616834(P2000-616834)

【国際特許分類】

B 0 1 J 20/24 (2006.01)

A 6 1 L 15/00 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

B 0 1 J 20/28 (2006.01)

B 0 1 J 20/30 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 5/44 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 20/24 B

A 6 1 L 15/00

A 6 1 L 31/00 T

B 0 1 J 20/28 Z

B 0 1 J 20/30

A 4 1 B 13/02 B

A 6 1 F 13/18 3 0 7 B

A 6 1 F 5/44 H

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月9日(2006.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項18

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項18】 請求項16の吸収組成物であって、

- キサンタンガムが1%のKClを含有する水中に1%の濃度で1400～1650 $\text{mPa} \cdot \text{s}$ (cps) の範囲の粘度を、1%のKClを含有する水中に0.2%の濃度で130～180 $\text{mPa} \cdot \text{s}$ (cps) の範囲の粘度を有し、低ピッチプロペラ型攪拌機を用いて800rpmで攪拌しながら3.0gの生成物および3.0gの塩化カリウムの乾燥配合物を400mlビーカー中の250mlの蒸留水に徐々に加え、更に44mlの蒸留水を加え、ビーカーの壁をすすぎ、および800rpmで2時間連続攪拌し、この期間の終了時に垂直運動で手で激しく攪拌することにより25に温度を調整して任意のチキソトロピー作用または層化を排除することにより生成物の1%塩溶液を調製し、第3番スピンドルで60rpmでLVモデルのブロックフィールド粘度計を用いて直ぐに粘度を測定することにより粘度が測定され、

グアーガムが24時間後に少なくとも3500 $\text{mPa} \cdot \text{s}$ (cps) の、30分後に2800 $\text{mPa} \cdot \text{s}$ (cps) の粘度を有し、低ピッチプロペラ型攪拌機を用いて800rpmで攪拌しながら3.0gの生成物および3.0gの塩化カリウムの乾燥配合物を400mlビーカー中の250mlの蒸留水に徐々に加え、更に44mlの蒸留水を加え、ビーカーの壁をすすぎ、および800rpmで2時間連続攪拌し、この期間の終了時に垂直

運動で手で激しく攪拌することにより25 に温度を調整して任意のチキソトロピー作用または層化を排除することにより生成物の1%塩溶液を調製し、第3番スピンドルで60 rpmでLVモデルのブロックフィールド粘度計を用いて直ぐに粘度を測定することにより粘度が測定される吸収組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

本発明の更に好ましい実施態様によれば、

- キサンタンガムが1%のKClを含有する水中に1%の濃度で1400~1650 mPa·s (cps)の範囲の粘度を、1%のKClを含有する水中に0.2%の濃度で130~180 mPa·s (cps)の範囲の粘度を有し、低ピッチプロペラ型攪拌機を用いて800 rpmで攪拌しながら3.0gの生成物および3.0gの塩化カリウムの乾燥配合物を400mlビーカー中の250mlの蒸留水に徐々に加え、更に44mlの蒸留水を加え、ビーカーの壁をすすぎ、および800 rpmで2時間連続攪拌し、この期間の終了時に垂直運動で手で激しく攪拌することにより25 に温度を調整して任意のチキソトロピー作用または層化を排除することにより生成物の1%塩溶液を調製し、第3番スピンドルで60 rpmでLVモデルのブロックフィールド粘度計を用いて直ぐに粘度を測定することにより粘度が測定され、

グアーガムが24時間後に少なくとも3500 mPa·s (cps)の、30分後に2800 mPa·s (cps)の粘度を有する。